



不登校の子どものための居場所  
“ゆいゆい”

# 居場所だより

表紙 イベント情報  
 中間 イベント開催報告  
 利用者の声  
 裏面 相談先・アクセス

## 地域と学校の垣根を下げる 居場所づくり

「生きる力を育む関わり」  
～子どもの発達段階を知ろう～

2月25日(日) 10:00～12:00 (開場9:30)

<会場>ひだまりの里きよせ 地域交流スペース  
(清瀬市梅園3-1-30)

<後援>清瀬市 <主催>ウイズアイ

Google map



第2弾

不登校を  
考えよう!

不登校を考える  
公開講座シリーズ

講師 茂木 厚子氏



発達支援&親支援「Kids Sense」代表  
1989年渡米。発達が気になる子どもたちを対象としたセラピーノウハウを学び2007年に帰国。親支援が最も重要だと考え「親がおうちでできる・ホームベースセラピー」をひろめるための親向け勉強会・講演活動を行う。誰もが生きやすいインクルーシブな地域社会、人権意識の重要性を発信中!  
早期発達支援士・保育士/教員研修

<当日のお問合せ>  
ウイズアイ居場所 専用電話  
070-3827-8612



お申し込み  
フォーム

## 親の会

「行きたくない」「行けない」「行かない」不登校と言っても、一人一人  
思いは様々です。

子どもとどう向き合うのか、誰に相談したらいいのか、このままでいいの  
か、この先どうしたらいいのか、毎日のちょっとしたこと。  
そんなことを親同士で話してみませんか。



1月27日(土) 13:30-15:00

清瀬第六小学校

2月18日(日) 翌週講演会の為お休み

3月17日(日) 10:00-12:00

ゆいゆい

※開催日、場所が変更になる  
場合があります。  
ウイズアイホームページにて確  
認してください。(裏面参照)

# 不登校を 考えよう!

## 第1弾 開催報告

### 不登校を考える 公開講座シリーズ

9月2日 清瀬第六小学校 家庭科室 26名参加

前半のシンポジウムでのお話を抜粋してご報告します。

後半は、参加者のみなさんのリレートーク、質疑応答で活発な意見交換がされました。

詳細報告は、ホームページに掲載しています。



#### 一条 海斗さん（日本社会事業大学3年）

不登校のきっかけの一つは、集団が苦手な教室に入れなかったこと。もう一つ決定的なことは、クラスメイトが怒られるときに、全員が教室に集められて注意喚起される場面がなかったこと。わかっているけれど、怒りの対象が自分に向いているように人よりも感じてしまうので、苦手でした。小学校の校長室で過ごした時間が「受け入れてもらった」よい思い出です。自分にとっての居場所が家だけにならないように周りが支援してくれ、フリースクールにも通いました。親はすごく混乱していましたが、急かされることはありませんでした。進路について親から「そろそろ考えた方がいい」と言われたのは辛かった。自分のペースで答えを出したいから待つてほしかったです。大学進学を考えたターニングポイントは、とても楽しかった高校の文化祭です。福祉と不登校分野の同時学習を実現できる、知り合いがいない新しい環境を選びました。

#### 猪野直美さん（保護者）

「休ませたい」と学校に訴えたが「甘えている」と言われ、本人は頑張って登校していました。その後担任との信頼関係が崩れてしまいました。不登校になると学校とのやり取りが激減しました。それでも「きまりだから」といわれた毎日の欠席連絡は非常に負担でした。親の会、フリースクール、地域ネットワーク、思春期外来、行政相談窓口など、子どもの代わりに親が外の情報を集め親自身も元気になり、子どもが動き出すきっかけを作ってあげる事が大事でした。親は「ゆっくり休もう」と言えたけれど、子どもが「行けない自分」を受け入れるのに時間がかかりました。①朝起きること②食事を摂ること（不登校の時は泣きながら食べていた）だけはがんばろうと約束しました。「〇〇しなさい」とは言わず、情報・話題として子どもにたくさん話しかけ提供して一緒に足を運びました。

#### 菊地 俊一氏（清瀬第六小学校校長）

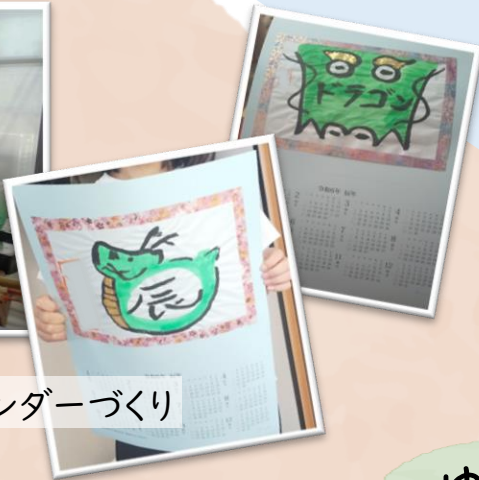
不登校の原因は想像するしかありません。教員との信頼関係が崩れたとき、産休代行などの担任交代がきっかけになることも。保健室、職員室、校長室などの別室登校の対応をして、少しずつ教室に近づく試みをしています。校内居場所（別室登校）の設置は試みながら模索しています。「きらり」特別支援教室は、学習・生活に困り感のある子の個別指導、小集団指導をしています。週1回の支援会議は、つまずきのある子に必要な支援を検討し知恵を出し合う場です。特別という名前はないけれど、特別じゃない。全員のための場所です。



# 居場所の子どもたちに 聞いてみました！

## 学校で思ったこと

- ・先生に声をかけるタイミングが難しい
- ・みんなの前で誰かが怒られる場にいるのがつらい（みんなも怒られる）
- ・宿題を自由課題にしてほしい
- ・休み時間の過ごし方を自由にしてほしい
- ・クラスの人数が多い
- ・給食を早く食べないといけない
- ・健診の時の先生の性別
- ・先生がこわい
- ・10時くらいに何か食べたい
- ・校則



お習字カレンダーづくり

## ゆいゆいで 好きなゲーム・あそび



## ゆいゆいの様子

### みんなとお話 公園・散歩

マンカラ  
プラバン  
ウノ  
料理

タブレット  
絵を描く  
ジェンガ  
本を読む  
レゴ など！



六小秋まつり



ハロウィン  
パーティ



クリスマス  
サンドイッチづくり



皆でビンゴ！



「学校に行きたくない」  
と言われたら…  
子どもの悩み、  
どこに相談する？

## まずは担任の先生に相談してみましょう！

わが子が不登校になったとき…まず誰に相談したらいいか悩む保護者の方は多いと思います。

そんなときは、まず**担任の先生**に相談しましょう。

学校では、特別支援コーディネーターの先生、校長先生や副校長先生も相談に応じてくれます。

SC(スクールカウンセラー)が、保護者、子どもの相談を受けてくれます。詳細は各校発行のお手紙を確認いただくか、学校にお問い合わせしてみてください。



## 学校以外にも相談ののってくれる場所があります。

<清瀬市の相談窓口>

### ◆教育委員会 教育部教育指導課教育支援係(市役所)

TEL/042-497-2552

- ・学校に登校できない、もしくは、その傾向にある児童、生徒についての相談
- ・学校でのつまずきについての相談
- ・特別支援学級、特別支援学校に関わる相談

### ◆教育相談室(しあわせ未来センター内・予約制)

TEL/042-493-3526

- ・18歳までの子ども、保護者、先生方の相談
- ・子どもの発達、不登校、接し方などについての相談

### ◆子ども家庭支援センター(しあわせ未来センター内)

TEL/042-495-7701

- ・家庭におけるお子さん(18歳未満の子どもとご家庭)に関する相談
- ・子育て向け各種サービスの相談

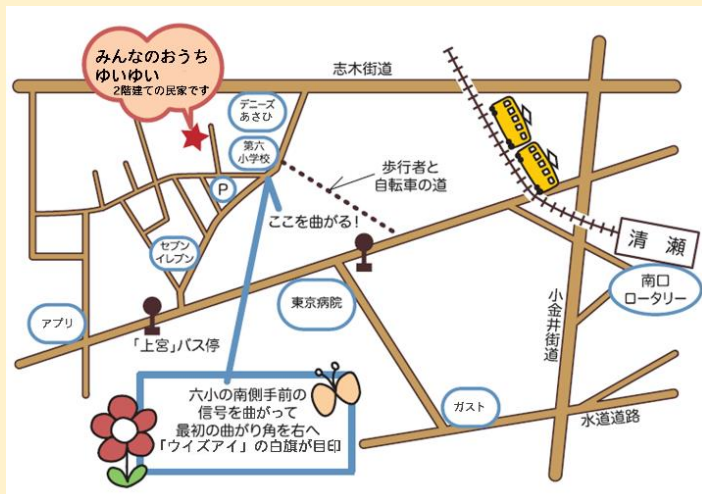


## 「清瀬市の特別支援教育について」

ホームページをご覧ください。(清瀬市教育委員会HP)



令和5年度  
清瀬市の特別支援教育について



玄関にあるこの看板が目印！



子どもの居場所ゆいゆい

開所日：月・火・木曜日

9:30~15:00

利用料：1回300円

詳細はホームページをご確認ください。



google Map

## 特定非営利活動法人 ウイズアイ

〒204-0024 東京都清瀬市梅園2-2-29

☎ 042-452-9765(代) FAX 042-497-2308



詳しくは  
「ウイズアイHPへ」

## 不登校の子ども居場所「みんなのお家 ゆいゆい」

☎ 070-3827-8612 子どもの居場所専用 平日9:00~16:00

✉ ibasyo@with-ai.net ←各種お問い合わせ、お申し込みは居場所メールへ！

